

小杉町埋蔵文化財発掘調査一覽

2004年度



2005年3月

富山県小杉町教育委員会

例 言

1. 本書は、平成16年度に実施した埋蔵文化財分布調査及び発掘調査の概要をまとめたものである。
2. 埋蔵文化財調査に係る事務局は小杉町教育委員会生涯学習課に置き、調査事務を課長補佐高橋 登が担当し、課長石黒信明が総括した。
3. 本書に収録の調査は、生涯学習課文化財保護係の原田義範が行った。
4. 調査の実施にあたり、富山県教育委員会文化課、富山県埋蔵文化財センターから指導・協力を得た。また、調査から報告書作成に至るまで次の方々や諸機関から教示・協力を頂いた。記して謝意を表したい。

(敬称略五十音順)

- 愛宕勝典・木村篤人・櫛岡修史・小西靖博・坂井ふじ江・佐野正登・清水雅彦・諏訪博之・竹田榮夫・田中 明
谷澤芳範・塚島義治・寺口 崇・富樫昭一・富山農地林務事務所・鳥崎裕治・奈良和弥・畑井 猛・増田 明
本林 功・古澤一起
5. 調査を実施した遺跡の出土遺物は、小杉町埋蔵文化財整理室で整理を行い、遺物・原図・写真類は小杉町教育委員会が保管している。
 6. 本書の編集・執筆は原田が行った。

目 次

1. 平成16年度の概要	1	塚越大沢遺跡 (No.13)	9
2. 分布調査	3	黒河尺目遺跡 (No.15)	9
3. 試掘調査	3	畑総No.16遺跡 (No.16)	9
4. 工事立会	4	黒河尺目遺跡 (No.2)	11
HS-04遺跡 (No.4)	5	草山B遺跡 (No.12)	11
西谷No.3遺跡 (No.11)	5	椎土遺跡 (No.5)	12
加茂社遺跡 (No.9)	6	赤田I遺跡 (No.1-8)	12
黒河市遺跡隣接地 (No.1)	7	5. 本発掘調査	14
黒河西山遺跡 (No.3)	7	赤田I遺跡 [No.1~5]	14
黒河西山遺跡 (No.11)	8	6. 普及・活用	18
表野遺跡 (No.6)	8	※遺跡名右側の% () が試掘調査、[] が本発掘調査の一頁表の番号を示す。	

凡 例

1. 本文中における発掘区図版の試掘トレンチ脇の記号は、遺物の出土位置を示し種類は次のとおりである。

▲ 石器・石製品 □ 弥生土器 ▽ 土師器 △ 須恵器 ■ 珠洲 ☒ 中世土師器
○ 中世陶器・磁器 ⊗ 近世陶器・磁器 T トレンチ  遺構

※表紙写真は赤田I遺跡出土の土師器埴

1. 平成16年度の概要

平成16年度に小杉町教育委員会が実施した埋蔵文化財の調査件数は、分布調査12件、試掘調査6件、工事立会15件、本発掘調査5件であった。本発掘調査は全て赤田1遺跡で実施され、土地区画整理事業地内の個人住宅建設であった。



第1図 調査位置図 (1:25,000)

注：数字は調査一覧表の番号を示す。



第2図 調査位置図 (1:25,000)

注：数字は調査一覧表の番号を示す。

2. 分布調査

町では、周知の埋蔵文化財包蔵地の隣接地及び未踏査区域で行われる公共事業や民間の各種開発に先立ち、関係機関や事業者と協議し事前に分布調査を実施している。

分布調査とは、調査員が現地を踏査し、遺物の散布状況や地形等から埋蔵文化財包蔵地の範囲を推定する調査で、包蔵地内である場合は試掘調査を行うことになるが、包蔵地外である場合は開発を実施してもよいことになる。平成16年度に実施した分布調査は12件であり、うち1件で工事立会が必要と判断し、開発側への対応としている。

No.	所在地	原因	調査日	対象面積	対象地の種別	現況	採集遺物	開発への対応
1	土代字宮ノ前1660外2筆	個人住宅建設	H16.4.15	246㎡	未踏査地	標高約20mの庭地		整土済みのため踏査不可
2	黒河821-1外1筆	個人住宅建設	H16.5.10	624㎡	未踏査地	標高約8mの宅地		住宅建築のため踏査不可
3	黒河564-3	個人住宅建設	H16.7.12	999㎡	未踏査地	標高約5mの水田		支障なし
4	戸破3705-1	農作業場建設	H16.9.6	74㎡	未踏査地	標高約4mの敷地		事前協議
5	鷺塚826	個人住宅建設	H16.9.6	489㎡	未踏査地	標高約2mの畑地・水田	弥生土器	工事立会が必要
6	戸破字後室1529-1外1筆	宅地造成	H16.9.27	634㎡	未踏査地	標高約5mの荒地		支障なし
7	白石498	農家用施設建設	H16.10.25	240㎡	未踏査地	標高約1.4mの畑地		支障なし
8	青井谷722	農家住宅建設	H16.10.25	924㎡	未踏査地	標高約14.2mの水田		支障なし
9	戸破字四反田764	農機具格納庫建設	H17.3.7	161㎡	未踏査地	標高約5mの宅地		支障なし
10	白石554-1	資材置場建設	H17.3.7	1,477㎡	未踏査地	標高約1.7mの水田		支障なし
11	三ヶ1993-2	農機具格納庫建設	H17.3.7	733㎡	未踏査地	標高約5mの水田		支障なし
12	西高木67-2	個人住宅建設	H17.3.7	499㎡	未踏査地	標高約1.3mの水田		支障なし
計 12件				延べ 7日間		対象面積 7,100㎡		

第1表 分布調査一覧

3. 試掘調査

試掘調査とは、対象地に重機もしくは人力でトレンチと呼ばれる試掘溝（幅約0.8m～1.0m、深さは状況に応じ調査員が判断する）を設定し、トレンチ内を精査し観察することにより遺構や遺物の出土層位を確認し、遺跡の有無や内容を把握することを目的として行う調査である。平成16年度に実施した試掘調査は6遺跡6件であり、全件で本発掘調査の必要無しと判断し、開発側へ対応している。

No.	遺跡名	所在地	原因	調査期間	対象面積	発掘面積	種別	検出遺構	出土遺物	開発への対応
1	黒河浦開闢地(381067)	黒河3104	公民館建設	H16.4.14-15 (延べ2日)	2,905㎡	181.4㎡		溝・土坑・ピット	土師器・須恵器 近世磁器	支障なし
2	黒河尺目(381044)	黒河字前田 477外3筆	盛土工事	H16.8.20 (延べ1日)	197㎡	17.5㎡	散布地 集落		土師器	支障なし
3	黒河西山(381041)	黒河字竹山 3341外1筆	店舗建設	H16.9.1 (延べ1日)	221.112㎡	49㎡	散布地 製鉄	溝	須恵器・石製品	支障なし
4	HS-04(381004)	大江192-1 外5筆	公民館用地造成	H16.11.23-24 (延べ2日)	4,738㎡	333㎡	散布地 集落	川跡	弥生土器・土師器・ 須恵器・珠洲・青磁・ 近世陶磁器	支障なし
5	権土(381150)	権土87-2	墓石建立	H17.3.23 (延べ1日)	15㎡	4.5㎡	散布地 製鉄		鉄滓	支障なし
6	表野(381076)	黒河新字表野 1574-1外2筆	個人住宅建設	H17.3.23 (延べ1日)	337㎡	26㎡	集落 製鉄			支障なし
計 6遺跡6件				延べ 7日間		対象面積 8,413.112㎡		発掘面積 611.4㎡		

第2表 試掘調査一覧

4. 工事立会

平成16年度に実施した工事立会は8遺跡15件で、公共事業5件・民間開発1件・個人住宅9件であった。加茂社遺跡と畑No.16遺跡では、遺構・遺物が確認されたため、精査後に検出状況を記録した。その他の遺跡においては、支障なしと判断し開発を実施している。

No.	遺跡名	所在地	原因	調査期間	対象面積	発掘面積	種別	検出遺構	出土遺物	開発への対応
①	赤田 I (381301)	赤田土地区画整理 事業4街区1-2番	個人住宅建設	H16.4.30 (延べ1日)	227.92㎡	84㎡	集落 祭祀			支障なし
②		赤田土地区画整理 事業12街区11番		H16.6.11 (延べ1日)	300㎡	64㎡			支障なし	
③		赤田土地区画整理 事業5街区7番		H16.6.16 (延べ1日)	180㎡	82㎡			支障なし	
④		赤田土地区画整理 事業11街区2番		H16.11.30 (延べ1日)	212.66㎡	44㎡			支障なし	
⑤		赤田土地区画整理 事業12街区14番		H16.12.1-2 (延べ2日)	265㎡	14㎡			支障なし	
⑥		赤田土地区画整理 事業5街区6番		H16.12.6-8 (延べ2日)	197.66㎡	8㎡			支障なし	
⑦		赤田土地区画整理 事業10街区3番		H16.12.14 (延べ1日)	226.31㎡	131.53㎡			支障なし	
⑧		赤田土地区画整理 事業11街区18-19番		H16.12.18 (延べ1日)	443.57㎡	136.34㎡			支障なし	
⑨	加茂社 (381028)	戸破3943	公共下水道事業	H16.5.26-7.22 (延べ2日)	218㎡	69㎡	散布地 川跡		須恵器・土師器・近世 磁器・近代磁器・小杉 焼・木製品	支障なし
⑩	畑No.16 (381047)	黒河新字光明寺 728-2外	県営畑地帯総合 整備事業	H16.7.7-7.27 (延べ4日)	120㎡	96㎡	散布地 土坑 製鉄		須恵器・土師器・鉄滓 フイゴ羽子・近世磁器	支障なし
⑪	西谷No.3 (381281)	青井谷字西谷 6172-1	駐車場整備事業	H16.8.5 (延べ1日)	549㎡	3.5㎡	製鉄			支障なし
⑫	草山B (381149)	山本新地内	県営畑地帯総合 整備事業	H16.8.12 (延べ1日)	3㎡	3㎡	散布地 製鉄			支障なし
⑬	塚越大沢 (381078)	塚越字貝坪 1155外	県営畑地帯総合 整備事業	H16.8.30 (延べ1日)	40㎡	20㎡	製鉄			支障なし
⑭	黒河西山 (381041)	黒河新4848-1 外3筆	診療所建設	H16.12.1-8 (延べ2日)	987.89㎡	230㎡	散布地 製鉄			支障なし
⑮	黒河尺目 (381044)	黒河新字土代尻 1499-5外3筆	個人住宅建設	H17.3.7 (延べ1日)	358.62㎡	32㎡	散布地 集落			支障なし
計	8遺跡15件				延べ 22日間 対象面積 4,329.63㎡		発掘面積 1,017.37㎡			

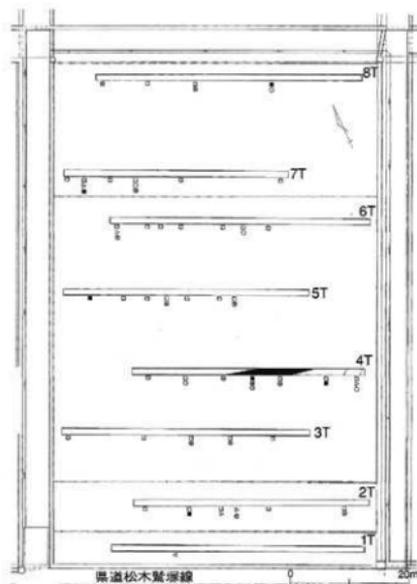
第3表 工事立会一覧

HS-04遺跡 (No.4)

調査地は遺跡中央部の北辺にあたり、対象地を含めた北側には水田が広がる。分布調査では、弥生時代から近世に至る遺物が比較的多く採集され、集落遺構の存在を想定していた。しかし、出土遺物の大半は著しく磨耗し、出土層位にもまとまりがないことから、近隣の土砂とともに流れ込み堆積していたと考えられる。



第3図 調査位置図 (1:10,000)



第4図 発掘区



P.L. 1 調査対象地 (南東から)



P.L. 2 出土遺物

西谷No.3遺跡 (No.11)

土層は上から1層が暗褐色の耕作土(20cm)、2層が黄褐色の客土(15cm)、3層が淡灰褐色の谷筋に自然堆積した土砂である。掘削深度30cmのため、地山は未確認。



第5図 調査位置図 (1:10,000)



第6図 発掘区



P.L. 3 調査対象地 (東から)



P.L. 4 掘削断面

加茂社遺跡 (No.9)

仮設水路掘削では須恵器や土師器、立坑掘削では確認した川跡から近世・近代の磁器や小杉焼(素焼き鴨徳利)、木製品(桶)が出土している。



第7図 調査位置図 (1:10,000)



第8図 発掘区



P.L. 5 調査対象地 (南から)



P.L. 6 出土遺物



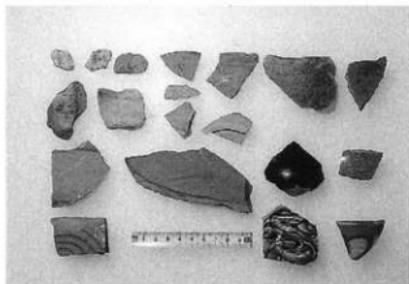
P.L. 7 出土遺物 (木製品)

黒河南遺跡隣接地 (No.1)

表土から明黄褐色の地山までの深度は、最深で80cm、浅い箇所では20cmとなっている。暗渠敷設による擾乱を受け、地山面より上位層は判断不可能である。4トレンチの溝には、木柱又は木杭が立った状態で検出され、その脇に材が敷き詰められた状態で検出された。これに伴う遺物の出土が無いため、時期についても判然としなない。



P.L. 8 溝状遺構



P.L. 9 出土遺物

黒河西山遺跡 (No.3)

土層は上から1層が山砂による盛土(0~10cm)、2層が日水田耕作土(35~60cm)、3層が暗茶色の自然堆積土(10~20cm)、4層が黄茶褐色の地山である。

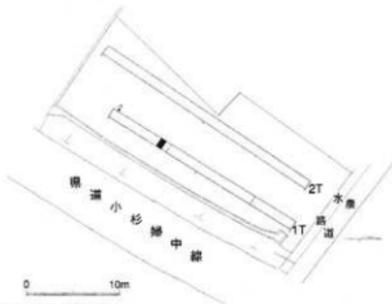
平成3年、調査地南側の個人住宅建設に先立つ試掘調査では柱穴状の土坑が確認され、平安時代の遺物が出土していた。この結果を受けて、今回の対象地で調査を実施したが、時期不明の溝1条と地山直上から同時期の遺物(須恵器2・石製品2)4点が散発的に出土しただけで遺構は確認できなかった。



第9図 調査位置図 (1:10,000)



第10図 発掘区



第11図 発掘区



P.L. 10 調査対象地 (南から)



P.L. 11 出土遺物

黒河西山遺跡 (No.3)

民間診療所建設に伴う掘削及び土壌改良工事に立会い、現況地盤から約1.8mの深さまで掘削が行われたが、遺構や遺物は確認できなかった。掘削地において計画どおり工事を実施しても支障ないが、今後掘削を伴う増改築等を行う場合は、事前に協議が必要となる。



P.L. 12 掘削状況

表野遺跡 (No.6)

対象地の現況は畑地、標高14.6m前後である。土層は上から1層が褐色又は黒色の耕作土(15~25cm)、2層が赤褐色粘質上の地山である。歩道よりの南側は樹木の伐根や土砂の埋め立て等で攪乱を受けていた。



第13図 発掘区



第12図 調査位置図 (1:10,000)



P.L. 13 2トレンチ掘削状況

塚越大沢遺跡 (No.11)

調査は県営畑地帯総合整備事業に伴い実施した。土層は上から1層が盛土(20~80cm)、2層が明黒色の旧耕作土(10~15cm)、3層が暗黒色の自然堆積土(0~30cm)、4層が灰黄褐色の地山である。確認された川跡は東西方向に近年まで流れていたと推察される。



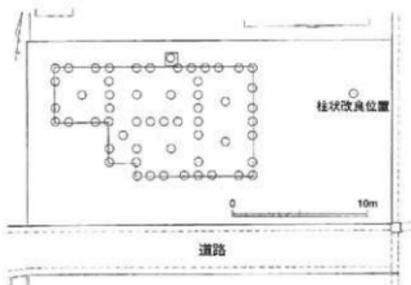
P.L. 14 掘削状況(北から)



第14図 発掘区

黒河尺目遺跡 (No.13)

個人専用住宅建築に伴う既存建物解体時の掘削工事に立会を実施したが、遺構や遺物は確認できなかった。



第15図 発掘区



P.L. 15 調査対象地(西から)

畑総No.16遺跡 (No.16)

幹線3号農道以東区間で、長軸0.8m、短軸0.56m、深さ0.5mの土坑1基を確認している。埋土は木炭細片混じりの暗黒色土で、大量の鉄滓とフィゴの羽口、平安時代の須恵器(坏蓋・坏身)と土師器(鍋)の土器片が出土している。出土した鉄滓の形状から精錬や鍛冶等の作業が対象地を含む周辺で行われていたことが考えられる。



第16図 発掘区



P.L. 16 調査対象地



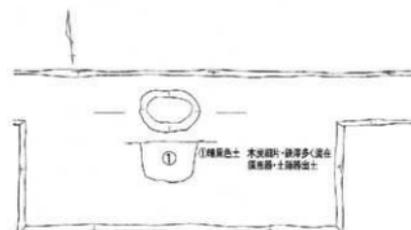
P.L. 17 変更後の計画線



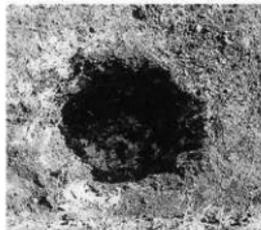
P.L. 18 調査風景



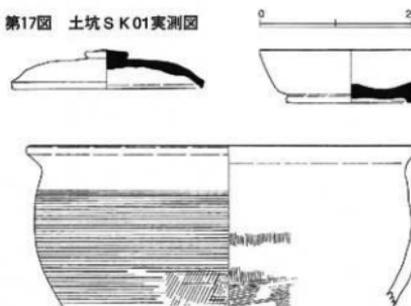
P.L. 19 トレンチ掘削状況



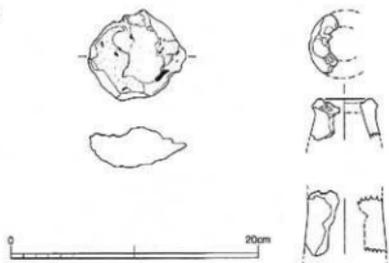
第17図 土坑SK01実測図



P.L. 20 土坑SK01掘削状況



第18図 畑総No.16遺跡土坑SK01出土遺物



黒河尺目遺跡 (No2)

対象地の現況は畑地、標高約8.7mである。土層は上から1層が盛土、2層が日耕作土、3層が地山である。遺構確認を行った黄灰白褐色の地山までの深さは、1.0～1.4mとなり、南へ低くなる傾向が見られた。これは平成13年の県道小杉婦中線発掘調査で確認された谷の最も低くなる方向と一致していた。またトレンチ北側の地山直上から出土した土師器は、摩滅も見られないことから対象地西側の台地に集落の存在が推定される。



第19図 発掘区



P.L. 21 掘削状況 (北から)



P.L. 22 出土遺物 (土師器)

草山B遺跡 (No12)

調査は県営畑地帯総合整備事業に係る農道土質試験に立会を実施した。土層は上から1層が農道敷き砕石 (15～20cm)、2層が赤褐色の自然堆積土 (0～80cm)、3層が灰黄褐色の地山である。



第20図 調査位置図 (1:10,000)



P.L. 23 調査対象地 (1号道路No.1地点)



P.L. 24 調査対象地 (1号道路No.2地点)



P.L. 25 調査対象地 (2号道路No.1地点)

堆土遺跡 (No5)

対象地の現況は畑地、標高約25mである。土層は上から1層が淡黒色の耕作土(25cm~35cm)、2層は赤褐色粘質土の地山である。トレンチ東半分では、圃場整備時のパイプ敷設跡やゴミの埋設等の掘削により攪乱を受けていた。出土遺物の鉄滓は、この攪乱層から出土しており、周辺からの混入と考えられる。



P L. 26 調査対象地 (南から)



第21図 発掘区



P L. 27 出土遺物 (鉄滓)

赤田 I 遺跡 (No①~⑧) 【第26図】

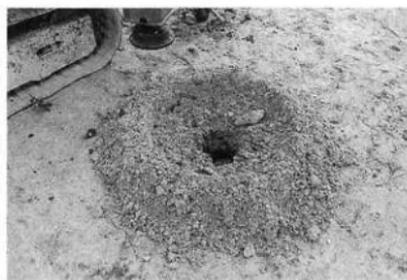
③・⑧の掘削工事は、現況地盤から約30cmの掘削のため、山砂盛土下の造成搬入土中であり遺跡への影響はなかった。②・⑤・⑥の掘削工事は、直径約60cmで深さ約4~6mの柱状の穴を掘削し、内部にコンクリートを流し込む工法である。掘削土中に遺物は見られなかった。①・④・⑦の掘削工事は、山砂盛土をすきとった後に深さ2~4mまでの堆積土に粉末状コンクリートを攪拌させる工法である。黄灰色土の地山面の深さまで掘削が及んだが遺構・遺物は確認できなかった。



第22図 調査位置図 (1:10,000)



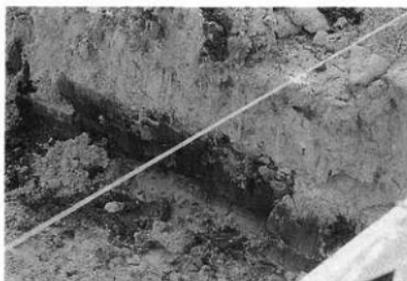
P L. 28 No. ①地区掘削作業



P L. 29 No. ②地区柱状改良掘削状況



P L. 30 No. ③地区掘削状況



P L. 31 No. ④地区掘削断面



P L. 32 No. ⑤地区柱状改良工事



P L. 33 No. ⑥地区柱状改良掘削状況



P L. 34 No. ⑦地区土壌改良深度



P L. 35 No. ⑧地区掘削作業

5. 本発掘調査

平成16年度に実施した本発掘調査は赤田Ⅰ遺跡5件であった。調査原因は個人専用住宅建設によるものであった。

No.	遺跡名	所在地	原因	調査期間	発掘面積	種別	検出遺構	出土遺物
1	赤田Ⅰ (381301)	赤田土地区画整理事業 5街区8番	個人住宅建設	H16.5.20~6.4 (延べ11日)	64㎡	集落 祭祀	古墳：溝	土師器
2		赤田土地区画整理事業 10街区13番		H16.6.7~6.16 (延べ8日)	108㎡		古代：溝	須恵器・土師器・近世陶磁器
3		赤田土地区画整理事業 11街区3・4番		H16.9.28~10.28 (延べ15日)	207㎡		古墳：溝・土坑 古代：溝・土坑	須恵器・土師器・珠洲 中世陶器・近世陶器
4		一条11-16		H16.10.25~11.19 (延べ17日)	165㎡		古代：溝	須恵器・土師器・木製品
5		一条10-15		H16.11.18~11.26 (延べ5日)	112㎡		古代：溝	須恵器・土師器・鉄滓・近世 陶器・木製品
計	1遺跡5件			延べ56日間	発掘面積656㎡			

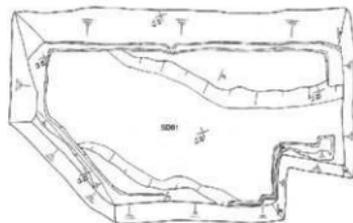
第4表 本発掘調査一覧

赤田Ⅰ遺跡 [No.1~5]

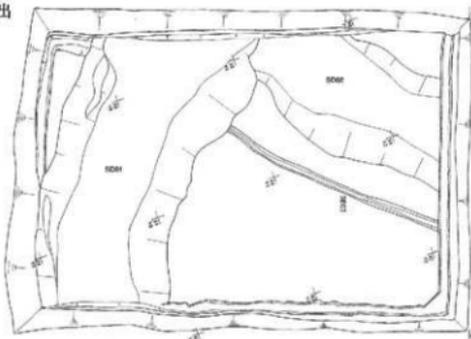
No.1地区は区画整理事業地西端部のやや下条川寄りに位置し、地山面の標高は約5.2mである。調査区を横切る溝1条が確認され、古墳時代前期末から中期初頭に属する土師器が出土している。No.2地区は平成14年度調査の3地区北側に近接し、地山面の標高は約5.2mである。溝11条、土坑2基を確認した。遺物はS D01・07から珠洲、包含層では須恵器・白磁・越中瀬戸が出土している。No.3地区は3地区南側に近接し、地山面の標高は約5.3mである。遺構は溝4条、小ピット3基、土坑7基を確認した。遺物は須恵器・土師器・珠洲・瀬戸美濃が出土している。No.4地区は2地区に近接し、地山面の標高は約5.4mである。遺構は溝3条が検出されており、なかでも規模の大きいS D01からは大量の土師器(埴・皿)が出土し、墨書土器「仁」や内外面に赤彩を施したものも確認された。他には須恵器や木製品(斎串・馬形・木札・曲物・盤・紡織具・下駄)も出土している。No.5地区はNo.2地区の西側約20mに位置し、3地区に近接する。地山面の標高は約5.2mである。調査区東端と西端に溝2条を確認し、遺構内から須恵器や土師器が出土している。



第23図 調査位置図 (1:10,000)

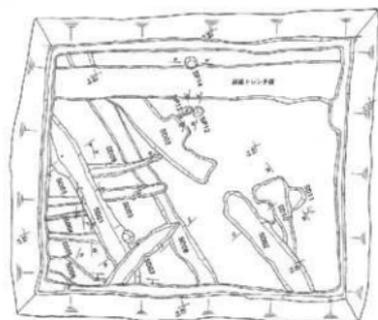


第24図 No.1地区遺構実測図

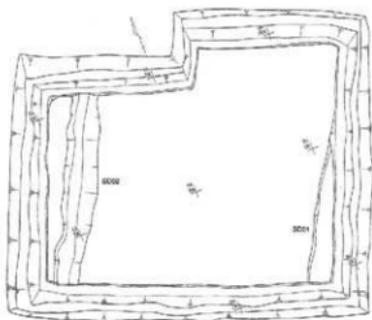


第25図 No.4地区遺構実測図





第27図 No. 2地区遺構実測図



第28図 No. 5地区遺構実測図



P.L. 36 No. 1地区全景 (南から)



P.L. 37 No. 2地区全景 (西から)



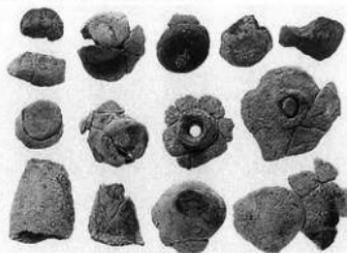
P.L. 38 No. 3地区全景 (西から)



P.L. 39 No. 4地区全景 (北から)



P.L. 40 No. 5地区全景 (北から)



P.L. 41 No. 1地区出土遺物 (土師器)



P.L. 42 No.4地区出土遺物(木製品)



P.L. 43 No.4地区出土遺物(土師器)

No	年度	所在地	原因	調査期間	調査種類	対象面積	発掘面積	検出遺構	出土遺物	
1	13	下条1284-1外	宅地	3.18~3.20 (延べ3日)	工事立会	216㎡	216㎡	古墳:溝 古代:溝	須恵器・土師器・珠洲・中世陶磁器	
2		下条1092-2外1草	道路用地	4.17~5.10 (延べ10日)	試掘調査	4,278㎡	802㎡	溝	須恵器・土師器・珠洲・中世陶磁器	
3		下条1092-2外1草	宅地 店舗用地	5.27~6.10 (延べ10日)		61,556㎡	1,952.8㎡	溝・土坑	須恵器・土師器・珠洲・中世陶磁器	
4		下条1092-2外	道路用地	7.13~10.14 (延べ47日)	本調査	2,170㎡	2,170㎡	溝・自然流路 敷六位置・土坑	古墳土師器・須恵器・緑釉陶器 木製品(印章・形代・漆器・杵)	
5	14	下条1322	宅地・道路用地 公園用地	9.3~4 (延べ2日)	試掘調査	4,166㎡	174㎡	溝	土師器・珠洲	
6		下条1309外5草	宅地・道路用地	9.18~9.20 (延べ3日)		616㎡	616㎡		須恵器・土師器・越中瀬戸	
7		下条1310外1草	道路用地	12.3~4 (延べ2日)	工事立会	265㎡	265㎡	溝・土坑	須恵器・土師器・珠洲・青磁・ 白磁・越中瀬戸	
8		下条1066	店舗用地	2.28 (延べ1日)		2,017.24㎡	656.98㎡	溝・土坑	須恵器・土師器	
9		一条8番6・7	宅地	5.9 (延べ1日)	試掘調査	457㎡	36㎡	溝	土師器・陶磁器	
10		一条12番17		10.20 (延べ1日)		232㎡	113㎡			
11	15	一条11番19		12.1 (延べ1日)		工事立会	217.03㎡	123㎡		
12		一条11番14		3.22 (延べ1日)			236㎡	21㎡		
13		一条5番8		3.29 (延べ1日)			392㎡	153㎡		
14		一条4番2	4.30 (延べ1日)	工事立会	227.92㎡	84㎡				
15		一条5番9	5.20~6.4 (延べ11日)	本調査	181㎡	64㎡	古墳:溝	古墳土師器		
16		一条10番13	6.7~6.16 (延べ8日)		199.3㎡	108㎡	古代:溝	須恵器・土師器・近世陶磁器		
17		一条12番11	6.11 (延べ1日)	工事立会	300㎡	64㎡				
18		一条5番8	6.16 (延べ1日)		180㎡	82㎡				
19		一条11番3・4	9.28~10.28 (延べ15日)	本調査	215㎡	207㎡	古墳:溝・土坑 古代:溝・土坑	須恵器・土師器・珠洲・中世 陶器・近世陶器		
20	16	一条11番16	10.29~11.19 (延べ17日)		266.7㎡	165㎡	古代:溝	須恵器・土師器・木製品		
21		一条10番15	11.18~11.26 (延べ5日)		289.13㎡	112㎡	古代:溝	須恵器・土師器・鉄滓・近世 陶器・木製品		
22		一条11番2	11.30 (延べ1日)		212.66㎡	44㎡				
23		一条12番14	12.1~2 (延べ2日)		265㎡	14㎡				
24		一条5番7	12.6~8 (延べ2日)		工事立会	197.66㎡	8㎡			
25		一条10番3	12.14 (延べ1日)	226.31㎡	131.53㎡					
26		一条11番17・18	12.18 (延べ1日)	443.57㎡	136.34㎡					

第5表 赤田土地地区面整理事業(一条)地内調査実施一覧

※H15年度以降の所在地は本換地地番を示す。

6. 普及・活用

(1) 埋蔵文化財整理室での作業

整理室では本年度に本発掘調査を実施した赤田Ⅰ遺跡5件分の水洗・注記・復元・実測・トレースなどの他、分布調査や試掘調査で出土した遺物の水洗・注記・接合を行った。また、未刊行の発掘調査報告書の作成作業も行った。

(2) 埋蔵文化財整理室の見学

平成16年度には次の見学があった。4月28日富山県建築組合連合会（60名）、5月14日小杉町文化財審議会（8名）、6月7日新湊市教育委員会（4名）、6月27日高岡市美術館（6名）、6月30日小杉町社会教育委員（16名）、7月22日射水郡内新入教職員の地域巡り（18名）、7月23日大島町教育委員会（10名）、7月29日富山県小学校長会（5名）、8月5日金沢大学社会教育主事講習（3名）、8月13日下条川まつり（25名）、9月21日大島町赤十字奉仕団（24名）、9月25・26日まちなみアトリレー（210名）、10月6日入江長八作品保存会視察（23名）、10月16日ガールスカウト富山県第40団（24名）、10月29日小杉黒河公民館おたっしゅクラブ（19名）、11月15日小杉町商工会観光サーブス部会（13名）、11月18日富山県立大学1年生（9名）、3月1～21日竹内源造作品集刊行記念写真展（309名）、3月28日小杉町新入職員（6名）、このほか8月21日～9月3日において、平成16年度企画展「近年の発掘調査から」を小杉町展示館で開催し、69名の見学があった。



企画展ポスター

(3) 報告書の刊行

平成16年度事業として、小杉町教育委員会が2005年3月までに刊行したものは以下のとおりである。

- ①【小杉町埋蔵文化財発掘調査一覧 2004年度】（A4版22頁）

分布調査				試掘調査			本発掘調査		
年度	件数	対象面積 (㎡)	延べ調査 日数	件数	対象面積 (㎡)	延べ調査 日数	件数	調査面積 (㎡)	延べ調査 日数
5	12	16,865	7	4	13,976	15	6	12,286	362
6	17	114,806	15	8	103,752	18	3	5,304	148
7	27	83,761	21	19	40,010	29	1	400	49
8	29	51,502	17	13	26,279.3	27	6	6,695	296
9	44	80,519	27	15	143,969.55	58	3	3,571	219
10	36	58,797	19	15	71,705	36	3	2,767	50
11	24	61,933.96	18	15	56,278.5	39	2	1,253	60
12	22	37,193.83	22	15	21,911.19	35	2	2,080	102
13	16	165,202.84	20	8	35,693.05	31	5	10,620	295
14	18	10,283.20	12	16	102,166.18	49	2	4,374	119
15	14	31,073	11	11	11,335.12	17	3	2,550	95
16	12	7,100	7	6	8,413.11	7	5	656	56

第6表 小杉町埋蔵文化財発掘調査件数などの年度別推移（町教委主体調査）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平日分	人数	75	25	36	40	43	38	52	53	19	8	22	200
		(累計)	100	136	176	219	257	309	362	381	389	411	611
	日数	17	14	18	17	17	16	16	15	15	15	15	18
		(累計)	31	49	66	83	99	115	130	145	160	175	193
土・日曜 祭日	人数	67	25	16	10	5	227	38	18	2	32	29	130
		(累計)	92	108	118	123	350	388	406	408	440	469	599
	日数	7	9	6	7	7	8	8	8	7	6	8	9
		(累計)	16	22	29	36	44	52	60	67	73	81	90
計	人数	142	50	52	50	48	265	90	71	21	40	51	330
		(累計)	192	244	294	342	607	697	768	789	829	880	1,210
	日数	24	23	24	24	24	24	24	23	22	21	23	27
		(累計)	47	71	95	119	143	167	190	212	233	256	283

第7表 年間見学者数

小杉町埋蔵文化財発掘調査一覧 2004年度

2005（平成17）年3月31日 発行

編集・発行 小杉町教育委員会

〒939-0393

富山県射水郡小杉町戸蔵1511

TEL (0766)56-1511

印刷 日興印刷株式会社

